

日本の人身取引対策「人身取引対策行動計画 2009」

- 1.人身取引の防止 2.人身取引の撲滅 3.人身取引被害者の保護 4.対策の推進のための基本整備

被害の防止
Prevention

加害者の起訴
Prosecution

被害者の保護
Protection

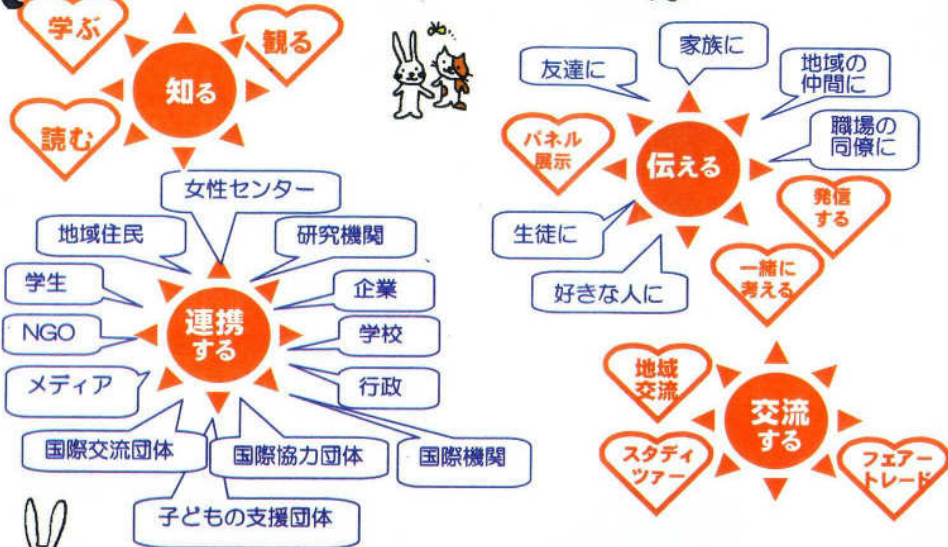
パートナーシップ
連携・協働
Partnership

「人身取引対策行動計画 2009」が、総合的・包括的な人身取引対策として策定されています。人身取引対策の基本は、Pを使って表すことができます。

第三次男女共同参画基本計画では、第8分野「高齢者、障害者、外国人が安心して暮らせる環境への整備」が新たな重点分野に入りました。

実態把握、職員研修、情報交換、雇員雇用主・ブローカーの取締、国際協力、社会啓発、法制度の整備、需要のコントロール、関係機関の連携

私にできること



「人身取引の問題は身近なところに解決の糸口があります。あなたはまず何ができますか？」

貸出パネルを人権や男女共同参画に関するイベントや学習に活用してください。

☆NWECの調査研究や参考資料については下記HPをご覧ください。
このリーフレットの他にクイズなどもホームページからダウンロードできます。
<http://www.nwec.jp/jp/program/research/page04.html>

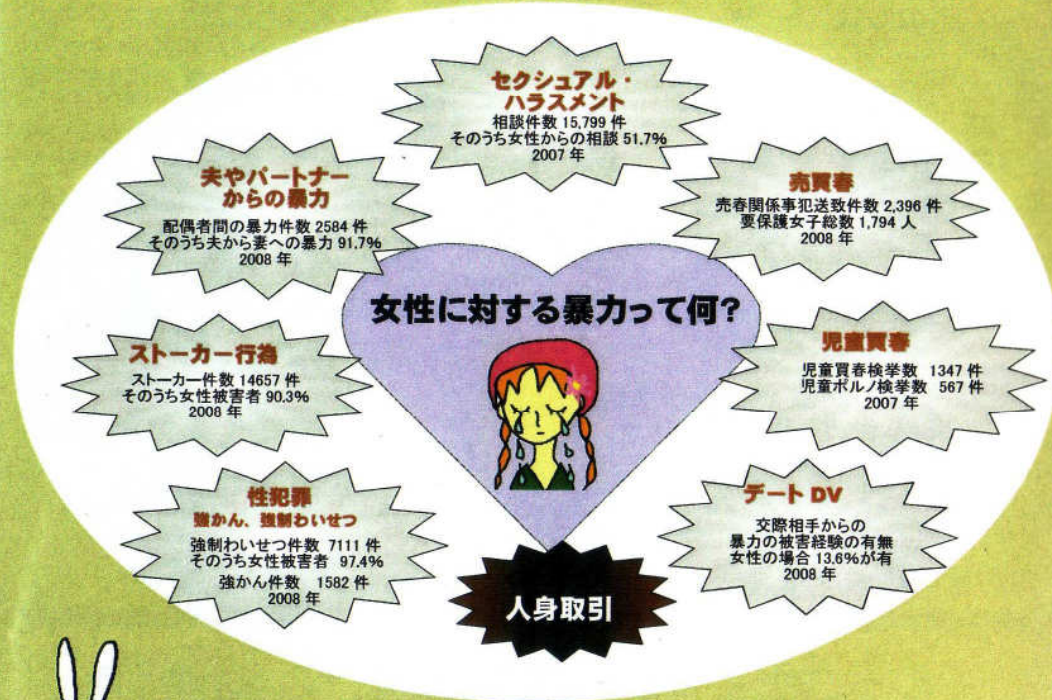
★参考資料
「人身取引(トラフィッキング)問題について知る 2011」



独立行政法人 国立女性教育会館
〒355-0315 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地
TEL 0493-62-6479 (研究国際室)
FAX 0493-62-9034
rese@nwec.jp



「人身取引」と「女性に対する暴力」をなくすために



「人身取引について知っていますか? これから人身取引の問題について一緒に考えていきましょう!」

最初の一步は「知ること」から

「人身取引」は、世界的に大変深刻な人権侵害です。被害者は、性別も国籍も年齢も様々です。特に、女性たちの受ける身体的・精神的暴力、脅迫、監禁などの被害は断じて許せない女性に対する暴力です。

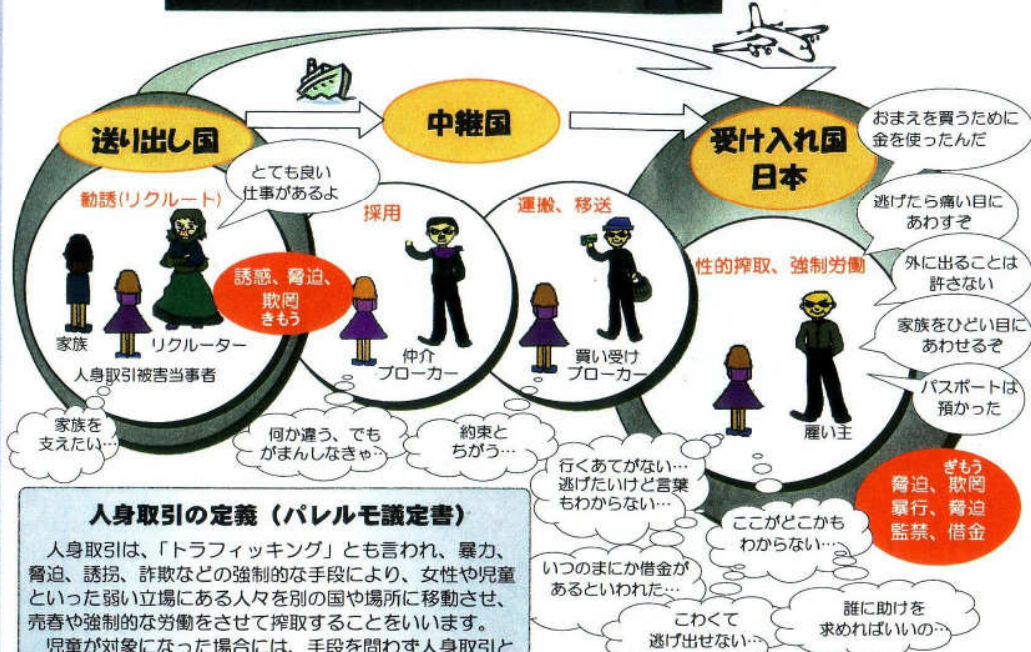
日本でも、多くの女性や子どもが海外から性的・搾取的労働に従事させるために連れてこられ、人身取引の被害にあっています。

世界中で広がるこの問題の解決には、被害者の保護と支援、加害者の処罰、さらに、女性たちを搾取する需要の根絶、貧困の撲滅や平和を進める国際協力が重要です。

まずは、私たちが実態の正確な理解を深め、社会の意識や関心を高めていくことが必要です。

一人ひとりができることから一緒に取り組んでいきましょう。

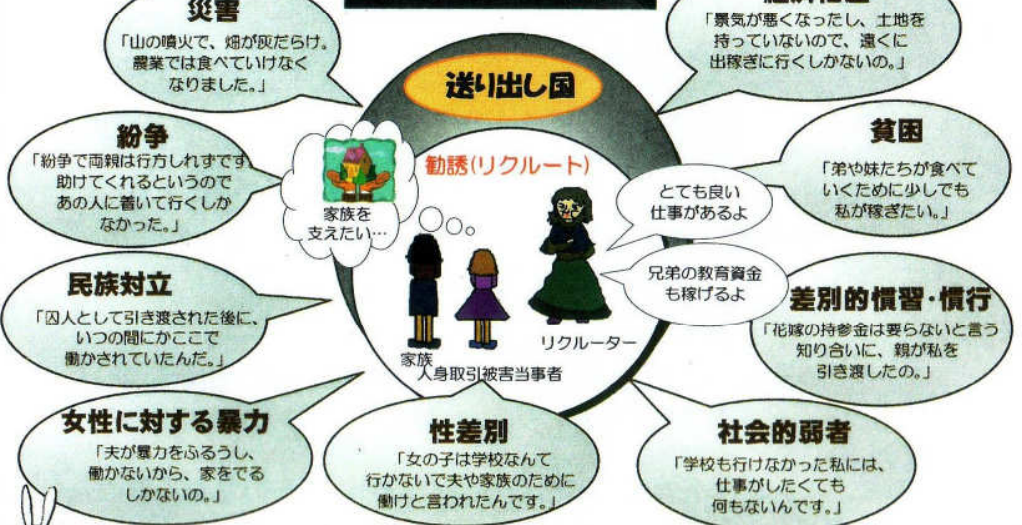
人身取引って何？「人身取引の構図」



人身取引の定義 (パレルモ議定書)

人身取引は、「トラフィッキング」とも言われ、暴力、脅迫、誘拐、詐欺などの強制的な手段により、女性や児童といった弱い立場にある人々を別の国や場所へ移動させ、売春や強制的な労働をさせて搾取することをいいます。児童が対象になった場合には、手段を問わず人身取引とみなされます。また、外国ではなく、国内で人身取引の被害に遭うこともあります。

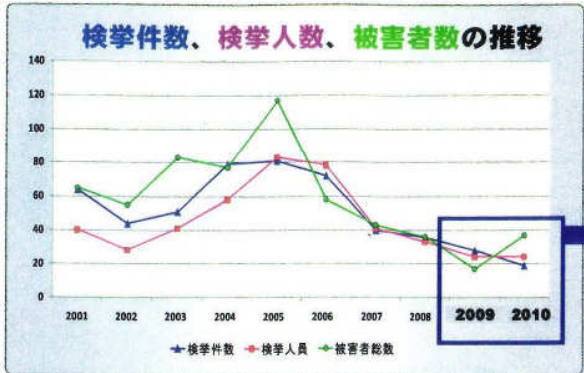
送り出し国の事情



「当事者の『事情』が具体的に想像できますか？」

日本における人身取引事犯の検挙状況

最近は日本人被害者が増えていることも特徴的です。



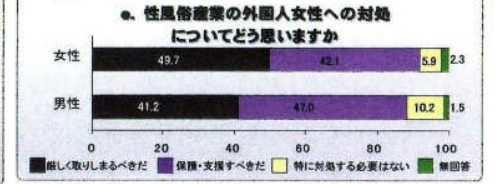
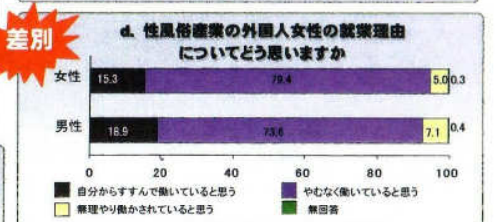
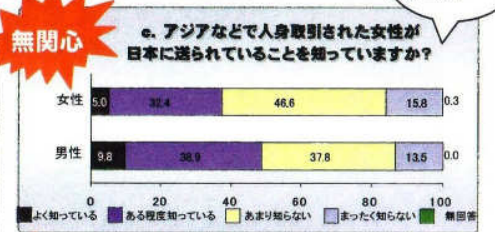
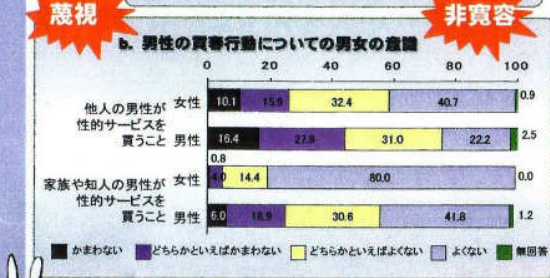
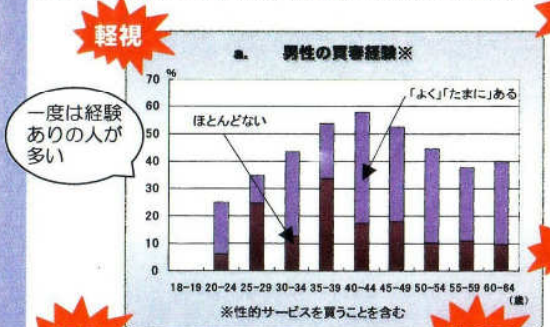
被害者の出身国

出身国	2009	2010	合計
検挙件数	28	19	514
検挙人数	24	24	450
パスポート数	8	3	124
検挙者数	17	33	1000
タイ	6	0	209
フィリピン	4	24	154
中国(台湾)	1	0	47
日本	1	1	17
中国(マカオ)	0	0	2
中国	0	0	7
中国(香港)	0	0	2
パプアニューギニア	0	0	1
インドネシア	0	0	76
コロンビア	0	0	58
韓国	0	0	1
ロシア	0	0	4
ロシア	0	0	2
カンボジア	0	0	2
オーストラリア	0	0	1
エストニア	0	0	1
ラオス	0	0	1

ある事例では、東南アジアの女性数名が、経営者に旅券を取り上げられた上、店外デートや同伴出勤を強いられていました。拒否した場合や思うように業績をあげられない時には、食費を削られたり、経営者らによる性的暴力を受けていました。

日本の人身取引の被害拡大の原因

※「現代人の意識と行動に関する調査」(国立女性教育会館)から



「問題の背景には、私達のどのような意識や考えがあるのでしょうか？」